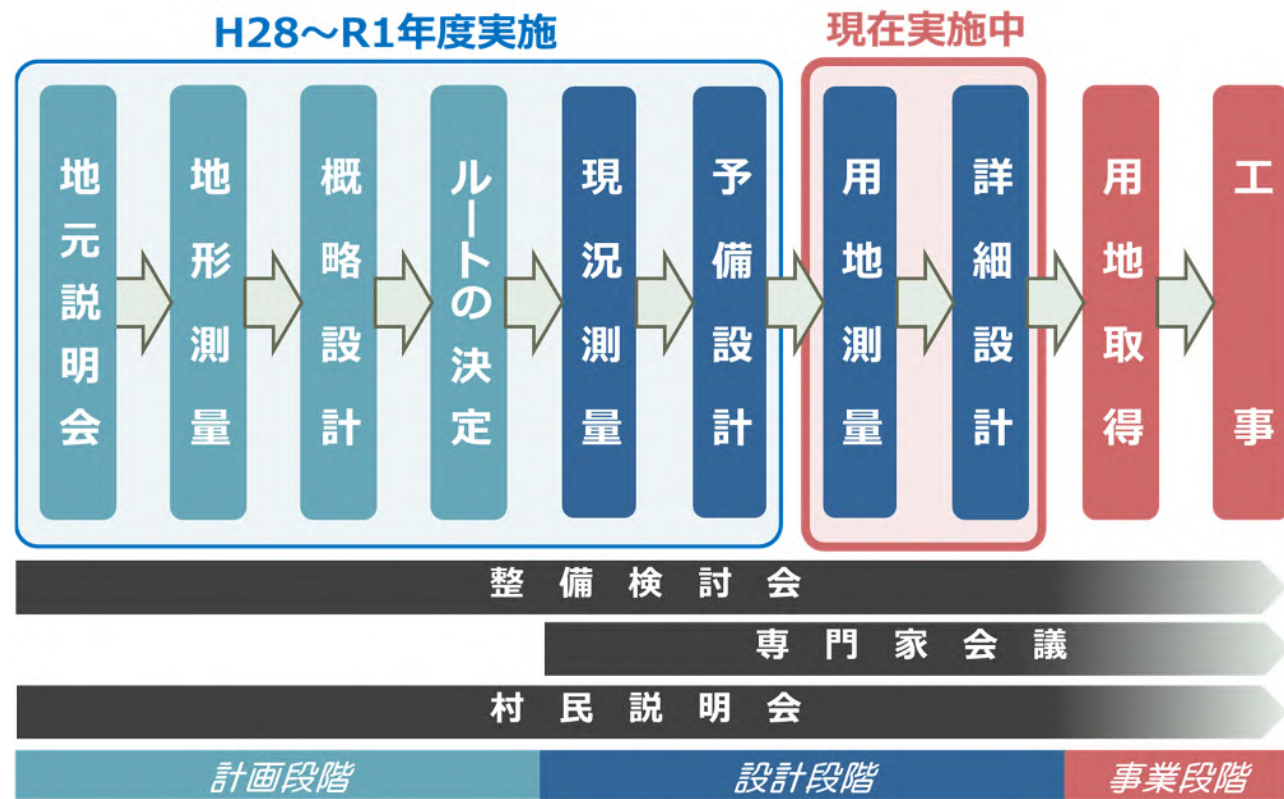


◆事業スケジュール

本事業の流れは以下に示す通りです。
また、事業の節目には、適宜に説明会を開催して参ります。



◆メモ◆

◆ご質問・お問合せ先◆

問い合わせ先：防災道路の必要性に関すること
行文線未整備区間の整備に関すること

小笠原村総務課総務係
東京都小笠原支庁土木課

TEL：2-3111
TEL：2-2163

第4回

行文線未整備区間の 整備再開に向けた村民説明会



小 笠 原 村
東京都小笠原支庁

◆計画概要

行文線未整備区間は、検討会・説明会での意見及び村民意見聴取の結果や整備要望者の意見等を総合的に勘案し、第3回村民説明会（平成30年3月）にて「一部地上案」を説明、最適ルートとして公表しました。

また、以下に示す3点の基本理念を踏まえた道路計画としました。

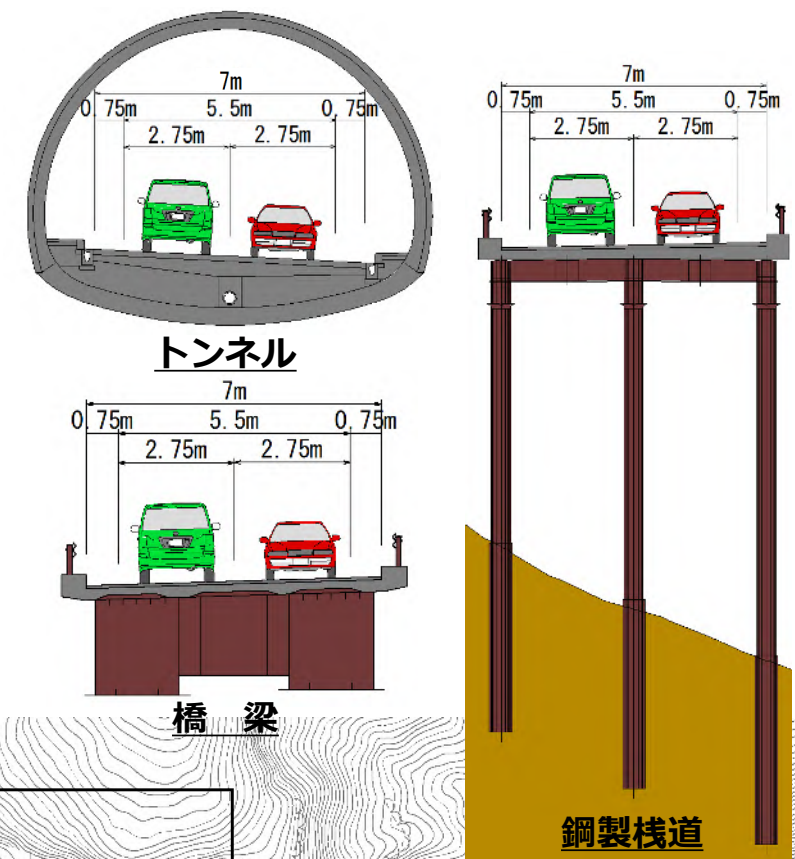
防災性に優れた
道路構造

自然環境に配慮した
道路構造

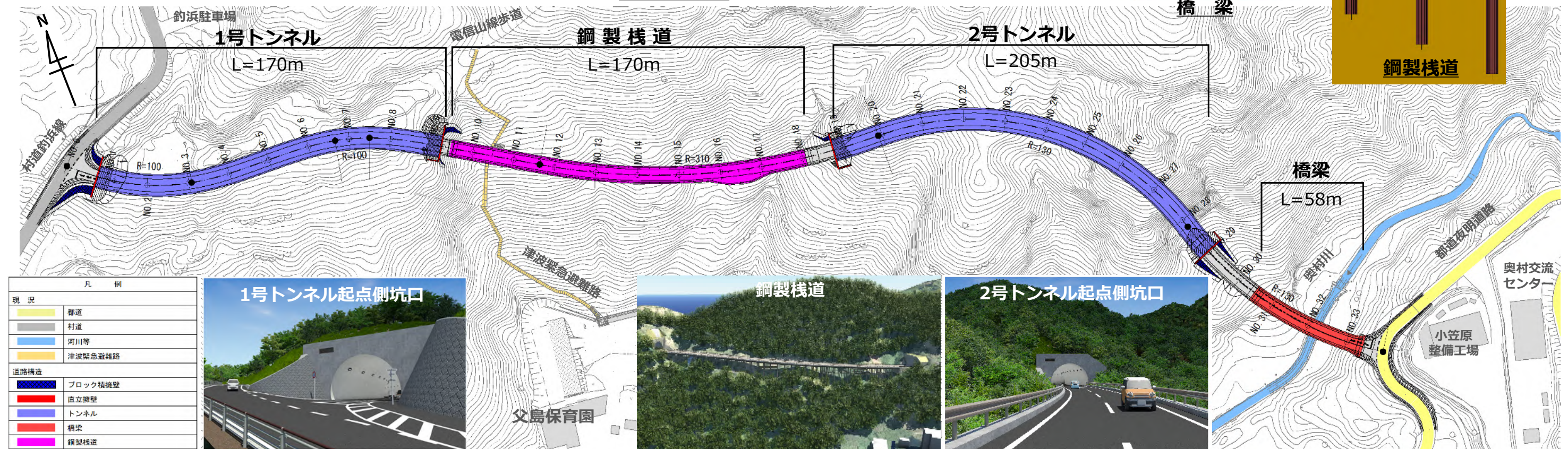
景観に配慮した
道路構造

特に2本のトンネルに挟まれた中間明かり部では、「鋼製栈道構造」を採用することにより、防災性、自然環境及び景観に優れる道路構造としました。

- ・ 防 災 性 : 斜面を背負わないため、土砂災害等の影響を受けにくいこと。
- ・ 自然環境 : 栈橋形式を送り出し工法で施工するため、地形改変等を抑制できること。
- ・ 景 観 : 視覚的な透過性が高く、景観色の採用もできるため、海側からの景観に馴染みやすいこと。

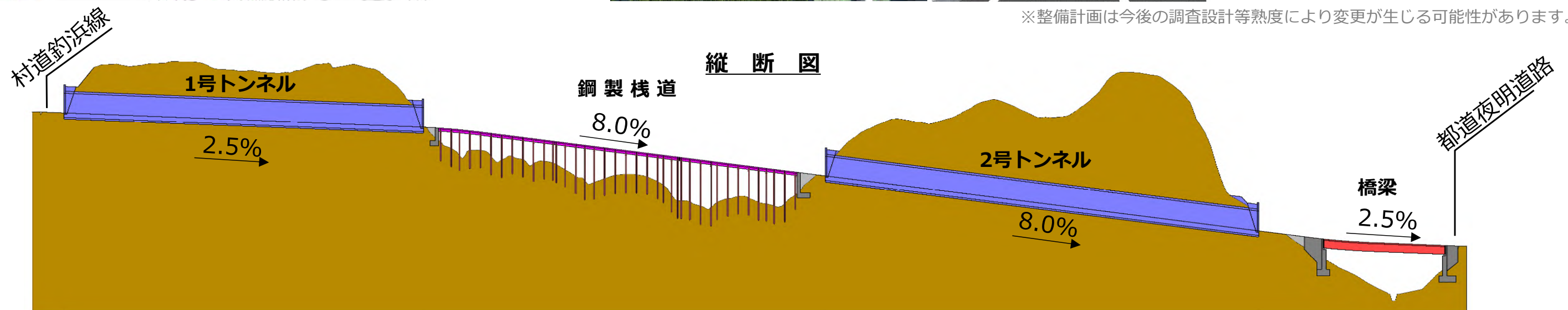


平面図



※整備計画は今後の調査設計等熟度により変更が生じる可能性があります。

縦断図



◆事業概要

行文線は都道240号線の一部で、海上自衛隊父島基地分遣隊入口から小中学校裏を通り、奥村交流センター前に至る区間の通称です。

昭和61年に防災避難道路（村道）として路線認定の後、都道として整備されましたが、路線の一部（未整備区間）においては、合意形成が整わず、平成7年に事業保留となりました。

平成23年3月の東日本大震災発生、平成26年に村が作成した父島津波浸水ハザードマップ基本図にて浸水エリアが提示されたことを受け、浸水エリア外で周回できる、清瀬と奥村を高台で結ぶ防災道路の必要性が再認識され、整備再開に向け、動き出しました。

これを受け、都は平成28年度より未整備区間の早期整備に向けた検討に着手し、村民説明会及び検討会における路線比較検討などを経て、平成30年5月に最適なルート案をお示しました。

その後、都は自然環境に関する専門家会議の設置や検討会を継続し、防災性や自然環境及び景観に優れた道路構造を検討して参りました。

これまでの経緯

平成27年

- ・小笠原村長から東京都建設局長へ整備再開に関する要望書を提出
- ・小笠原村議会が東京都知事へ整備再開を求める意見書を提出

平成28年

- ・「行文線未整備区間の整備に関する検討会」発足

第1回
整備検討会

第1回
村民説明会

平成29年

- ・ルート評価に必要な視点・項目を抽出
- ・環境調査結果を踏まえ、3つのルート案を説明
- ・全村民を対象とした意見聴取を実施

第2～3回
整備検討会

第2回
村民説明会

平成30年5月まで

- ・検討会、説明会、整備要望者、村民の意見を踏まえ、ルート案を説明
- ・村民だより（平成30年5月）にて、最適なルート案を公表

第4回
整備検討会

第3回
村民説明会

平成30年5月以降

- ・「行文線未整備区間の整備に係る専門家会議」発足
- ・防災性や自然環境及び景観に優れた道路構造を検討

第5～6回
整備検討会

第1～6回
専門家会議

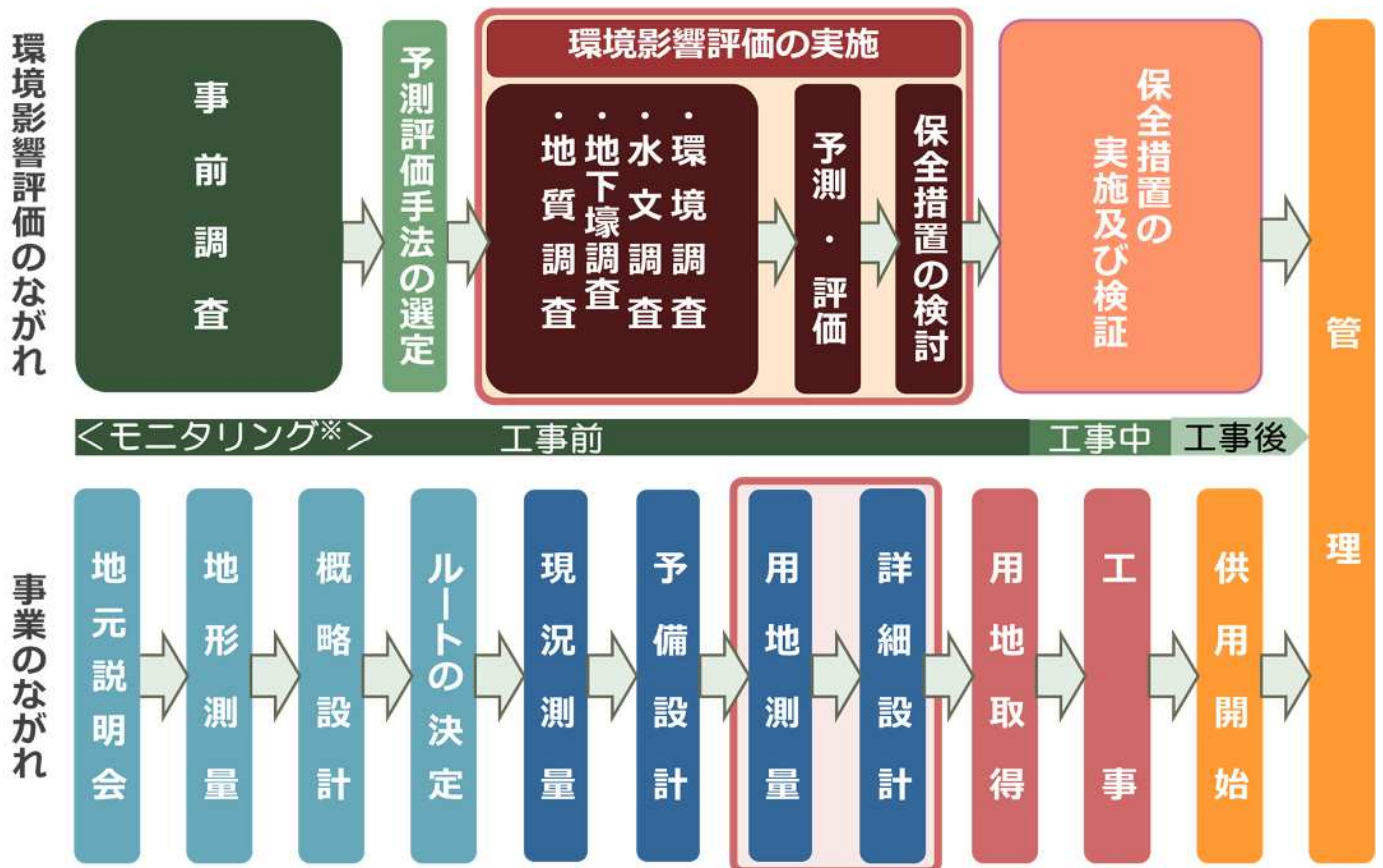
◆防災道路（ダブルルート化）の必要性・有効性

- ・救助活動に資する緊急車両の通行
- ・資材、物資の輸送路
- ・各集落を結ぶ避難路（孤立化の防止）



◆環境影響評価について

環境影響評価は、環境調査・水文調査・地下壕調査・地質関連の調査結果を踏まえて、以下に示すながれで行い、適切な保全措置を実施していきます。



※モニタリングとは、環境に関する観測及び調査のこと。

大気質

- ・排出ガス対策型建設機械の採用
- ・防塵シートでの被覆
- ・裸地部への散水 など

騒音

振動

- ・低騒音型建設機械の採用
- ・工事用車両の台数調整 など

生物・生態系

- ・改変範囲の最小化の検討
- ・夜間照明対策
- ・道路標識の設置
- ・改変箇所の緑化、外来種の侵入防止 など



夜間照明(父島)



道路標識(父島)

水質汚濁

- ・濁水処理施設の設置
- ・裸地の早期被覆
- ・沈砂池の設置
- ・供用後の道路排水対策 など

景観

- ・法面の緑化等
- ・トンネル坑口の表面処理等 など

全般

- ・工事前～供用後のモニタリング実施